（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	キミイロLAB			
○保護者評価実施期間	2024年　5月　1日	～	2025年　3月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	15	（回答者数）	10
○従業者評価実施期間	2024年　5月　1日	～	2025年　3月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　4月　1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い運動スペースがあり、室内でも身体を動かすことができる	・運動プログラムを多く実施することで、幼児期からの感覚統合を図る。	・マット運動やコーディネーショントレーニングを取り入れることでより高いレベルでの発達の向上を促す。
2	１人ひとりに応じたワークや活動内容を実施している。	・年齢や発達レベルに合わせたワークの考案 ・機能訓練の実施	・発達段階に応じた課題表を個別に作成し、より個々に合わせた細やかな支援、療育の実施を目指す。
3	朝の会や帰りの会といったお集まりをしっかりと実施し、メリハリのある活動をしている	・必ずお集まりの時間を設けることで着座の習慣や集中力を身に付ける。	・職員間でのロールプレイ等、研修を行いスキルの均一化を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用時間の短さ	・送迎場所が遠い児童は相対的に利用時間が短くなってしまう。	・送迎の順番を変えたり、送りの時間を遅くする等して対応していく。 ・限られた利用時間内での質の高い支援、療育を実施する。
2	言語や理学についての専門知識の乏しさ	・専門職がいないこと。	・専門分野の研修に積極的に参加し、職員の知識を深める。 ・事業所内でも勉強会を開き、スキル向上に務める。
3	バリアフリーでないこと	・段差や階段が多いこと。	・手すりをつける、滑り止めをつけるなどできる限りの対応をする。